

地域保健・福祉セミナーの報告 平成14年度前期分

I. 目的

近年、地域保健や福祉の現場やその教育の現場では、様々な分野や職種の連携の必要性が高まっている。この点で新潟医療福祉大学には、地域保健や福祉に関する様々な背景をもつ教職員がいるにも関わらず、お互いに問題意識や仕事内容について情報交換する場が少なかった。そこで、今後、研究や実践面や教育面で協働できるように、お互いの問題意識や仕事内容を交換する場とすることを目的として本セミナーを1年間の予定で立ち上げた。

II. 参加対象者

新潟医療福祉大学と関係機関の教職員、学生の自由参加

III. 実施したセミナーの内容

(平成14年度前期分)

今年度は、特に「食」を切り口に、様々な分野の方から話題提供をいただき、どのように連携できるかなどについての議論をおこなった。

回	月 日 時間	テーマ	話題提供者
1	4月16日 18:00~19:15	障害者福祉と地域と食生活 -管理栄養士へ期待する-	新潟医療福祉大学 社会福祉学科 手塚直樹 先生
2	5月8日 17:00~18:15	医療ソーシャルワーカーと地域における患者の食生活	新潟医療福祉大学 社会福祉学科 柴山悦子 先生
特別セミナー	5月15日 11:00~12:00	保健と福祉の連携に必要なものとは?	埼玉県坂戸市立市民健康センター所長 国枝 寛 先生
3	6月13日 17:00~18:15	介護老人保健施設における食(事例報告)	尾山愛広苑事務長 野水宏一 先生 (現在は新潟リハビリテーション病院事務長)
4	7月11日 17:00~18:15	地域における配食サービス-開始までのプロセスと1年の経過-	新潟医療福祉大学 理学療法学科 牧田光代 先生

発起人 (敬称略)

新潟医療福祉大学

理学療法学科 牧田光代
 作業療法学科 榎本郁子
 言語聴覚学科 磯野信策
 社会福祉学科 手塚直樹、丸田秋男、
 柴山悦子、西原康行、
 健康栄養学科 荒井富佐子、遠藤和男、
 村山伸子、佐野明子

新潟リハビリテーションセンター：野水宏一